

ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会
会 長 相 沢 克 明

コロナ禍における3度目の夏を迎えました。北海道高等学校教育研究会の会員の皆様におかれましては、子どもたちの教育活動を止めないとの思いの下、ここ2年間の知見を踏まえ、感染症対策と学びの両立にご尽力されていることと思います。本当にお疲れさまです。本年度より、伝統ある本研究会会長の重責を担うこととなりました。先行き不透明で厳しい状況下ではありますが、皆様と共に、「北海道の新たな時代を拓く高等学校教育の創造」に向け、微力ながら職責を果たしてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

さて、本研究会の歴史を紐解きますと、今から 59 年前、昭和 38 年5月 25 日の札幌南高等学校での設立総会で産声を上げ、翌昭和 39 年2月1日、全道から 335 名の教員の参加を得て、札幌旭丘高等学校で第1回研究大会を開催したとあります。本研究会設立前の本道高等学校の研究組織の状況は、義務教育諸学校とは異なり、教科によってまちまちで、全国的な団体に加わっている教科もあれば、研究組織のない教科もあるという状態であり、本道高等学校教育の充実発展のためには、全教科を網羅した新たな研究団体の設立が必須であった旨、初代会長の梶浦善次氏が「10 周年記念誌」で述懐しています。また、昭和 39 年3月発行の「研究紀要第1号」の巻頭言においては、「高校の先生方は、高い教育的背景と深い専門の研究領域をもっている。しかし特別の場合を除いては、その研究の成果を発表して相互に交流する場と機会に恵まれていなかったのではないか。」とし、本研究会は「自主的な研究をし、高校教育を前進させようという意欲をもつ人々によって結成された」のであり、正しく成長するための二つの条件として「いかなる研究も、自由に発表され、討究されるという『学問の自由』が確保されること」と「研究がなされる財政的な基盤」をあげ、会員に対し、この二つの確保に努めるよう真摯な呼びかけがなされていました。

以来、昭和、平成、令和と時代が移り変わりながらも、着実にその歴史を刻み続け、本年、第 60 回大会を迎えます。本来であれば、新学習指導要領が学年進行でスタートした年でもあり、大々的に記念大会として開催するところですが、未だ、未曾有のコロナ禍にあり、先行きも不透明なため、「60 周年記念大会」の位置づけを1年先送りするとともに、その内容につきましては、「働き方改革」が求められる昨今の社会情勢も踏まえ、周年事業のあり方も含め、改めて、設立当初の初心に帰りつつ、会員の皆様のご意見を伺いながら検討を進めることとしました。そのため今大会も、昨年度同様、対面での通常開催を目指しつつ、コロナの感染状況等により、オンライン配信等へ変更せざるをえない場合については、10 月末までに判断することにいたしました。

皆様ご承知の通り、本大会は、第2回目以降一貫して、1日目の全体会で、教科の枠を超え、日本の社会や文化、科学、教育などの分野で活躍されている著名な講師の講演をお聞きし、2日目の教科部会では、教科に特化した先進研究や教育実践に関する研修を行ってきています。いずれも、全道の教員が対面で一堂に会し、公式、非公式を問わず、情報交換や協議を進めてきたことの意義は誠に大きかったものと考えております。

今年度の全体会では、数理データサイエンス研究の第一人者である、北海道大学副学長の長谷山美紀先生をお招きし、「データサイエンス・AI 教育～これからの北海道を考える～」と題して、ご講演いただく予定です。今冬こそ、コロナ禍を吹き飛ばし、会員の皆様と共に、カナモトホールでライブ講演を拝聴しながら、Society 5.0 時代の本道高等学校教育のあり方について顔を突き合わせながら探究できることを心から願っております。

令和4年度 総会報告

5月9日の午後1時30分より、ホテルライフオーツ札幌において、本年度の総会・第1回研究協議会が開かれました。全道から地区支部長と各教科部会長が集まり、令和3年度事業の実施報告・令和4年度事業計画の審議、役員の変更、研究協議が行われました。以下、その概要をお知らせします。

(1) 令和3年度 事業実施報告

ア 会報 第117号発行（令和3年7月）

イ 研究紀要 第58号・第59号(合冊)発行（令和4年3月）

(2) 令和4年度 事業計画

ア 第60回北海道高等学校教育研究大会

① 全体集会

期 日 令和5年1月11日(水)

会 場 カナモトホール(札幌市民ホール)

研究主題 北海道の新たな時代を拓く高等学校教育の創造

日 程

9:00	12:00	13:00	13:40	15:40	
	準備	受付	開会式	講演	

運 営 大会役員

講 演

講 師 北海道大学メディアダイナミクス研究室 教授
北海道大学 副学長(IR,数理データサイエンス)
大学院情報科学研究院長
数理・データサイエンス教育研究センター
長谷山 美紀 氏

演 題 「データサイエンス・AI教育
～これからの北海道を考える～」

司 会 者 十勝支部



■全体講演講師 長谷山 美紀 氏 プロフィール

1986年 北海道大学工学部電子工学科卒業。1988年 北海道大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了。1989年 北海道大学応用電気研究所助手。1994年 北海道大学工学部助教授。1995年～1996 Washington University Visiting Associate Professor。2006年 北海道大学大学院情報科学研究科教授。2020年 北海道大学情報科学研究院長。2020年 北海道大学副学長。2022年 数理・データサイエンス教育研究センター長。

【主な現職委員等】国土交通省国土審議会専門委員。総務省情報通信審議会委員。北海道科学技術審議会委員。内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)上席科学技術政策フェロー。

② 教科別集会

期 日 令和5年1月12日(木)

会場・テーマ 教科部会ごとに決定

日 程 (概要)

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30	
受付	講演又は 研究協議	昼食 (休憩)	講演又は 研究協議	部会 ・総会	

※ 部会により時程は多少異なります。

講 師 各教科部会で決定(委嘱状・依頼状については、教科部会事務局で発送)

令和 4 年度北海道高等学校教育研究会 教科別テーマ・会場

部 会	会 場	研 究 テ ー マ
国 語	北海商科大学	これからの時代に求められる資質・能力を育む国語教育の創造 思考力を刺激する授業づくりを目指して
地歴・公民	北海道有朋高等学校	「社会的な見方・考え方」を育てる ICT を効果的に活用した授業の在り方
数 学	市立札幌藻岩高等学校 4 階講堂	数学的活動を充実させ、数学的に考える資質・能力を育成する数学教育
理 科	学校法人西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校	自然科学の見方・考え方を育成するための理科教育 科学的に探究する力を育む指導法の研究・実践 自然の事物・現象に主体的に関わらせる実験・観察の研究・実践
保健体育	かでの2・7	令和の日本型学校教育の構築に向けた保健体育授業
養 護	かでの2・7	現代的な健康課題の解決に向けた学校保健活動の推進をめざして
芸 術	札幌大谷大学	豊かな心や創造性を涵養する芸術教育
英 語	札幌大学	21 世紀に生きる地球市民をはぐくむ英語教育 English Education in the 21st Century : Fostering Global Citizenship 新しい流れに対応する授業を目指して In Pursuit of New Wave of English Teaching
家 庭	北海道札幌南高等学校	生涯を見通してよりよい生活を創造する力を育む家庭科教育
農 業	ホテルライフオート札幌	国際化と情報化に対応した農業教育の推進 ～地域農業と融合を図った学校農場づくり～
工 業	北海道札幌琴似工業高等学校	社会の発展に貢献する工業教育の創造と実践
商 業	未定	未来を拓く有為な人材を育成するビジネス教育
水 産	北海道小樽水産高等学校	変化の激しい時代を切り拓く水産・海洋教育はいかにあるべきか
情 報	北海道札幌北高等学校	新時代の情報科 混沌からの脱却 解決すべきテーマの精選、豊作と活動の共有

◎ 参加料 会員 2,000 円 非会員 3,500 円 一般 1,000 円(全体集会)1,500 円(教科別集会)
高等学校教員は全体集会のみ、教科別集会のみ参加でも参加料は同じです。
 また、当日参加も参加料は同じです。

イ 研究紀要 第 59 号(第 58 号と合冊)発行
 発 行 令和 3 年 3 月

ウ 会 報 第 115 号、第 116 号 発行

① 第 115 号 発行:令和 3 年 7 月 内容:令和 3 年度総会報告

② 第 116 号 発行:令和 4 年 3 月 内容:第 59 回研究大会報告及び第 59 回研究大会の概要について

令和5年度 第 61 回北海道高等学校教育研究大会の開催日について

令和 6 年 1 月 11 日(木) 全体集会

令和 6 年 1 月 12 日(金) 教科別集会 ※例年(水)、(木)でしたが変更になりました。

会場はカナモトホール(札幌市民ホール)に決定しました。

研究紀要執筆者募集要項

教科での研究紀要は各教科部会へ、教育一般は各地区支部へ申し出て下さい。たくさんのご応募をお待ち
 しています。なお執筆者は本研究会の会員に限ります。

① 原稿募集の種類

(ア)教科は、1教科につき 10ページ以内[横書き 横24文字2段組み1,000行]

(原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です)

(イ)教育一般は、1編につき 10ページ以内[横書き 横 24 文字 2 段組み 1,000 行]

(原稿の集約・審査は各地区支部長の担当です)

② 執筆申込締切日 教科部会・地区支部まで 8 月 26 日(金)

執筆者本部決定 9 月 9 日(金) 原稿提出締切 11 月 4 日(金)

全体講演の歩み

～ 第30回大会以降 ～

回	開催年度	講師氏名	演題
30	平 4	伊東 光晴 (放送大学教授 京都大学名誉教授) 古葉 竹識 (野球評論家)	技術革新の現在と社会の変容 耐えて勝つ
31	平 5	C.W.ニコル (作家) 若井 邦夫 (北海道大学教育学部教授)	自然と人間 子どもが発達するとき -必要とあそびのあいだ-
32	平 6	中村雄二郎 (明治大学法学部教授) 杉岡 昭子 (札幌国際プラザ専務理事)	共通感覚と自己表現 「故郷忘れがたく候」の旅
33	平 7	河合 雅雄 (京都大学名誉教授/日本福祉大学教授) 山中 輝子 (北海学園大学人文学部教授)	人間 -進化の道からずれた動物 世界の中の日本と日本人
34	平 8	佐原 真 (国立歴史民俗博物館副館長) 横湯 園子 (北海道大学教育学部教授)	大むかしと現代 子どもを観る目 -教育臨床心理の立場から-
35	平 9	浅井 信雄 (神戸市外国語大学教授) 中野 武房 (北海学園北見大学教授)	国際化と私たちの暮らし カウンセリングを体験してみませんか
36	平 10	梶田 叡一 (ノートルダム女子大学学長) シンポジウム	変革期の高校教育を考える 「今こどもの心は」 -問題行動の背景を探る-
37	平 11	養老 孟司 (北里大学教授)	からだと脳
38	平 12	河合 隼雄 (京都大学名誉教授)	青春の夢
39	平 13	阿部 謹也 (共立女子大学学長)	日本社会の構造と教育
40	平 14	五木 寛之 (作家)	日本人のこころ
41	平 15	毛利 衛 (宇宙飛行士/日本科学未来館館長)	宇宙の視点からの教育
42	平 16	寺島 実郎 (三井物産戦略研究所所長 /日本総合研究所所長)	世界潮流と日本および北海道の進路
43	平 17	吉村 作治 (早稲田大学国際教養学部教授)	夢の実現の仕方
44	平 18	桜井 進 (河合塾、早稲田塾、数学講師 /sakurAi Science Factory 主催)	サウンド オブ サイエンス ジョン・ネイピア ～対数誕生物語
45	平 19	金子 勝 (慶應義塾大学経済学部教授)	ニュースの嘘と教育
46	平 20	阿刀田 高 (作家) 阿刀田慶子 (朗読家)	アイデアの発見
47	平 21	福岡 伸一 (青山学院大学理工学部化学・生命科学科教授)	科学のおもしろさをどう伝えるか
48	平 22	見田 宗介 (東京大学名誉教授)	現代社会はどこに向かうか
49	平 23	内田 樹 (神戸女学院大学名誉教授)	転換期の教育 -グローバリズムに抗して
50	平 24	川口淳一郎 (宇宙航空研究開発機構教授)	「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、 その7年間の歩み
51	平 25	古賀 稔彦 (柔道家、古賀塾塾長、医学博士)	夢の実現 ～挑戦することの大切さ
52	平 26	大棟 耕介 (NPO 法人 日本ホスピタル・クラウン協会理事長 愛知教育大学非常勤講師)	心を開き、活気を生み出す『笑い』の力 ～ホスピタル・クラウンの現場から～
53	平 27	溝上 慎一 (京都大学高等教育研究推進センター教授 大学院教育学研究会(高等教育開発論講座)兼任)	社会に繋がる学習 -アクティブラーニングとトランジション-
54	平 28	中島 岳志 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)	自主規制はいかにして起きるのか
55	平 29	児美川孝一郎 (法政大学キャリアデザイン学部教授)	地域の未来をつくるキャリア教育の創造 - 新学習指導要領が示唆すること -
56	平 30	新井 紀子 (国立情報学研究所社会共有知研究センター センター長・教授 一般社団法人教育のための科学研究所代表理事・所長)	AI時代の教育～社会はどこへ向かうか
57	令 元	齊藤 誠一 (北海道大学北極域研究センター 研究推進支援教授)	これからの北極域研究 - 気候変動とSDGsの視点から-
59	令 3	安田 登 (能楽師(ワキ方、下掛宝生流)米国 olfInstitute 公認ロール ファー(米国のボディワーク、ロールフィングの専門家) 関西大学 特任教授)	未来へつながるリベラルアーツ - Society 5.0 時代の古典の価値

令和4年度 北海道高等学校教育研究会 役員・地区支部長・教科部会長・本部事務局

〔役員〕

会 長	相沢 克明	(札幌旭丘)			
副 会 長	宮岡 勝郎	(札幌琴似工業)			
	西岡 憲廣	(札幌山の手)			
	大谷 健介	(札幌西)			
	西川 浩司	(札幌平岸)			
監 事	矢田 春義	(札幌新川)			
	濱下 昌也	(札幌東商業)			
顧 問	綾井 健二	武田 泰明	田村 勸	島 隆	
	青塚 健一	金間 正克	宮浦 俊明	守屋 開	
	佐々木高至	石黒 清裕	林 恵子		

〔地区支部長〕

〔石狩〕	太田 潤一	(札幌工業)
〔道南〕	藤田 和秀	(函館商業)
〔後志〕	齋藤 譲一	(留寿都)
〔空知〕	古川 栄一	(滝川)
〔道北〕	木幡 かおる	(旭川北)
〔オホーツク〕	工藤 昌彦	(留辺蘂)
〔釧根〕	加藤 誠	(弟子屈)
〔十勝〕	重堂 法人	(音更)
〔日胆〕	小川 政博	(白老東)

〔教科部会長〕

〔国語〕	山本 英人	(札幌東陵)
〔地歴・公民〕	元紺谷尊広	(有朋)
〔数学〕	尾崎 茂樹	(札幌藻岩)
〔理科〕	田邊 裕二	(札幌平岡)
〔保健体育〕	町田 英謙	(札幌東豊)
〔養護〕	渡邊祐美子	(石狩翔陽)
〔芸術〕	石若 拓哉	(平取)
〔英語〕	金山 泰幸	(千歳)
〔家庭〕	宮崎 円	(月形)
〔農業〕	鎌田 一宏	(岩見沢農業)
〔工業〕	宮岡 勝郎	(札幌琴似工業)
〔商業〕	堀野 智宏	(札幌啓北商業)
〔水産〕	木村 司	(小樽水産)
〔情報〕	佐藤 健	(檜山北)

〔事務局〕

事務局 長	杉本 式史	(札幌旭丘)		
事務局 次長	信田 篤	(札幌旭丘)	中辻 拓実	(札幌旭丘)
	細田亜紀子	(札幌旭丘)	松林 憲人	(札幌旭丘)

〔地区支部〕

地区支部	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
石狩	札幌工業	平井 柳太	060-0820	札幌市北区北20条西13丁目	011-727-3341	011-727-3344
道南	函館商業	鎌本 光司	041-0812	函館市昭和1丁目17番1号	0138-41-4248	0138-41-4250
後志	留寿都	小川 浩由	048-1731	虻田郡留寿都村字留寿都179番地1	0136-46-3376	0136-46-3386
空知	滝川	三浦 信一	073-0023	滝川市緑町4丁目5-77	0125-23-1114	0125-22-1115
道北	旭川北	山内 宣明	070-0901	旭川市花咲町3丁目	0166-51-4620	0166-51-2818
オホーツク	留辺蘂	山崎 逸子	091-0026	北見市留辺蘂町旭公園104番地5	0157-42-2225	0157-42-2752
釧根	弟子屈	道添 昌規	088-3214	川上郡弟子屈町高栄3丁目3番20号	015-482-2237	015-482-2532
十勝	音更	吉田 拓二	080-0574	河東郡音更町駒場西1番地	0155-44-2201	0155-44-2010
日胆	白老東	三橋 孝臣	059-0903	白老郡白老町日の出町5丁目17-3	0144-82-4280	0144-82-4766

※教頭が担当

教科部会	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
国語	北広島西	榊 優美	061-1105	北広島市西の里東3丁目3-3	011-375-2771	011-375-2661
地歴・公民	有朋	志田 光瑞	002-8504	札幌市北区屯田9条7丁目	011-773-8200	011-773-8300
数学	札幌藻岩	加藤 勉	005-0803	札幌市南区川沿3条2丁目1-1	011-571-7811	011-571-7814
理科	長沼	今井 一実	069-1343	夕張郡長沼町旭町南2丁目11番1号	0123-88-2512	0123-88-2874
保健体育	札幌東豊	蓬田 泰生	007-0820	札幌市東区東雁来町376番地1	011-791-4171	011-791-9116
養護	札幌月寒	岡 香	062-0051	札幌市豊平区月寒東1条3丁目1-1	011-851-3113	011-851-3112
芸術	札幌あすかぜ	村松 勇太	006-0860	札幌市手稲区手稲山口254番地	011-694-5033	011-694-5074
英語	千歳	一岡 憲和	066-8501	千歳市北栄1丁目4-1	0123-23-9145	0123-23-2742
家庭	札幌啓北商業	野村 良子	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
農業	ニセコ	新濱 是彦	048-1501	虻田郡ニセコ町字富士見141番地9	0136-44-2224	0136-43-2031
工業	札幌琴似工業	佐藤 寿彦	063-0833	札幌市西区発寒13条11丁目3-1	011-661-3251	011-661-3252
商業	札幌啓北商業	野口 浩史	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
水産	小樽水産	佐々木健太	047-0001	小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	0134-23-4553
情報	札幌北	前田健太郎	001-0025	札幌市北区北25条西11丁目1	011-736-3191	011-736-3193

[部会長校] 国語(札幌東陵) 理科(札幌平岡) 養護(石狩翔陽) 芸術(追分) 家庭(月形) 農業(岩見沢農業) 情報(檜山北)

◎2022年度 会員登録者数一覧

(令和4年7月8日 現在)

	国語	地歴 公民	数学	理科	保健 体育	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	情報	合計	前年 合計
石狩	99	104	110	95	83	17	40	114	34	6	21	36	1	28	788	819
道南	5	19	9	11	6	5	6	13	8	8	4	8	39	2	143	140
後志	6	8	5	2	2	1	3	7	2	16	3	3	27	3	88	99
空知	6	5	3	14	12	2	6	9	6	12	2	8	0	0	85	87
道北	19	28	20	24	12	6	6	18	5	22	11	20	1	1	193	188
オホーツク	11	18	5	16	9	3	0	16	8	5	2	12	0	2	107	107
釧根	8	18	15	16	8	1	3	8	4	6	4	10	11	2	114	142
十勝	11	6	9	3	7	1	2	7	1	13	3	2	0	2	67	80
日胆	17	20	11	16	15	2	5	20	4	7	11	6	0	3	137	142
合計	182	226	187	197	154	38	71	212	72	95	61	105	79	43	今年度 1,722	
昨年度	191	224	198	199	168	37	77	241	61	105	53	123	82	45	昨年度 1,804	

◎会員数の推移

年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
会員数	3,063	3,049	2,785	2,721	2,592	2,473	2,369	2,283	2,253	2,196	2,197	2,205	2,149	1,929	1,804	1,722

事務局から

皆さんも「DX(Digital Transformation)」という言葉をご存知でしょうか。AI(Artificial Intelligence/人工知能)・ビッグデータ・IoT (Internet of Things/モノのインターネット)等の急速な技術革新とともに、社会のあらゆる分野で「DX」が進んできております。そんな中、次世代社会の基本的な素養として、『数理・データサイエンス・AI』は文理を問わず、あらゆる分野で活躍するために必要であると注目されており、全国の大学で『数理・データサイエンス・AI』に関する研究センターや学部・学科が次々と設置されております。

今年度の高教研全体会では、北海道大学副学長・大学院情報科学研究院長、数理・データサイエンス教育研究センター長である長谷山美紀教授をお招きして、『数理・データサイエンス・AI』をキーワードに、これからの次世代社会で活躍する人材を育成するためには、高等学校においてどのような教育が必要か御講演いただく予定となっております。

それでは、令和5年1月 11 日(水)にカナモトホールでお目にかかりましょ

発行 令和4年7月
北海道高等学校教育研究会本部事務局
〒064-8535
札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号
市立札幌旭丘高等学校内
TEL 011-513-2238 FAX 011-513-2244
Eメールアドレス d-kokyoken@sapporo-c.ed.jp